

実践!

ISO21500 プロジェクトマネジメント入門講座

～プロセスで学ぶプロジェクトマネジメントシステム～

JIS Q 21500:2018 (ISO 21500:2012)準拠

日程 令和8年2月12日(木)、13日(金)

対面講座

グループワークあり



会場 かながわサイエンスパーク内講義室 (川崎市高津区坂戸3-2-1)

◆JR南武線「武蔵溝ノ口」・東急田園都市線「溝の口」下車

▼お申込・詳細はこちらから

受講料 26,000円 (税込、テキスト代込)



講師 榎本 徹 (榎本環境カウンセラー事務所 代表)

著書:「ISO21500から読み解くプロジェクトマネジメント」「意思決定のためのリスクマネジメント」「CSR活用ガイド」など

カリキュラム



JISQ2500:2018(プロジェクトマネジメントの手引き)は、プロジェクトを遂行するために重要な39のプロセスを提示しています。本講座は、その中から代表的なプロセスを取り上げて、2日間で学習します。ゲーム形式のグループワークも取り入れ、実践的に理解を深めます。

●2月12日(木) 9:30～16:30		●2月13日(金) 9:30～16:30	
時間	主な内容	時間	主な内容
9:30	■オリエンテーション ・自己紹介 ・事前学習の振り返り ・講座の目的と終着点 ■講義 ・私たちを取り巻く事業環境 ・プロジェクトの使命 ■グループワーク 【プロジェクトを成功させるために必要なこと】 数名ごとのグループに分かれ、プロジェクトを成功に導くために「やるべきこと」「避けるべきこと」を自由に出し合う。 その後、グループ内で意見を整理し、優先度の高いアイデアを選択・発表することで参加者全員の共有化を図る。 ■講義 ・プロジェクトマネジメントの用語 ・JIS Q 21500:2018の逐次解説	9:30	■講義 ・JIS Q 21500:2018の逐次解説
		12:00	
			休憩
12:00		13:00	■グループワーク 【リスクアセスメントの理解】 数名ごとのグループに分かれ、リスクアセスメント事例から問題点を抽出し、グループ内で共有する。 その結果を発表し、参加者全員の共有化を図る。
	休憩		
13:00	■講義 ・JIS Q 21500:2018の逐次解説 ■グループワーク 【ステークホルダーの識別と特定】 数名ごとのグループに分かれ、プロジェクトに関与するステークホルダーを識別・特定する。 特定したステークホルダーは、その影響度グループで検討し、共有化する。 その結果を発表し参加者全員の共有化を図る。 ■講義 ・JIS Q 21500:2018の逐次解説		■講義 ・プロの責任と社会的責任 ・プロジェクトの監査(事例紹介) ・重点事項の再確認と質疑応答 ・理解度確認テスト(4択問題)
16:30		16:30	

注記：講座のプログラムは進行状況などで前後するか増減することがあります。

「プロジェクトを成功へ導く、 マネジメントの力」

本講座は、国際標準規格【※JIS Q 21500:2018】を基に、プロジェクトの立ち上げから終結までの重要プロセスを学ぶ講座です。初心者でも理解しやすい内容で、業務に役立つ知識を身につけると共に、ゲーム形式のグループワークを通じて、楽しみながら理解を深める工夫も用意しています。

プロジェクトマネジメントの基本を学び、現場で活用できるスキルを身につけたい方は、ぜひご参加ください。



なぜ今、プロジェクトマネジメントなのか？

変化の著しい現代のプロジェクトでは、成功のために確かなマネジメント力が不可欠です。限られた時間、予算、人材を最大限に活用するためには、プロジェクトマネジメントの体系的な知識を身につけることが求められています。グローバル化や市場の変動が加速する今、国際標準のプロジェクトマネジメントを学ぶことは、企業の競争力強化にも直結します。プロジェクトの成功確率を高め、顧客からの信頼を築くために、今こそプロジェクトマネジメントの知識とスキルを手に入れましょう。

講師(榎本 徹 先生)からのメッセージ

■ プロジェクトを取り巻く現代の課題

プロジェクトの多くは共通の課題を抱えています。たとえば、プロマネ分野における**ベテラン社員の不在**を挙げることができます。長年にわたりプロジェクトを支えてきた経験豊富なベテラン社員が退職し、多くの会社はプロジェクトマネジメントの熟練者が不足しています。**ベテラン社員の空洞化はリスク管理能力の不足**となり、プロジェクトのリスク対応能力で課題が生じます。

国際規格JIS Q 21500:2018「プロジェクトマネジメントの手引」を習得することで**会社のリスク強化**が期待できます。

■ 本講座で得られる知識や力量

プロジェクトマネジメントの普遍的な理解は、**経営管理やマネジメントシステムの熟成**に役立ちます。

JIS Q 21500:2018が提供する各種の管理プロセスは、**特定のツールや技術に縛られないプロジェクト管理の原理原則**です。

世界標準を学ぶことは、異なる国、業界、組織の人々とプロジェクトの進め方について誤解なく議論でき、国際的なプロジェクトや外部パートナーとの連携もスムーズになり、**異文化のハードルを越える円滑なコミュニケーションの確保**が期待できます。

■ プロジェクトマネジメントを学ぶ意義

プロジェクトマネジメントのスキルは、プロジェクトを「**工期内に」「計画した経営資源で」「求められる品質を**」達成させるための基盤になります。プロジェクトマネジメントを学習することで個人の勘と経験に頼らずプロジェクトを管理できるようになります。

また、こうしたスキルは**個人のキャリアアップと市場価値をより高めてくれます**。プロジェクトマネージャー（PM）のスキルは、**業界や職種を問わずあらゆる仕事で求められる汎用性の高いスキル**であり、多くの会社はプロジェクトを管理できる人材を熱望しているのです。



こんな方におすすめ

- ☆ 基礎からプロジェクトマネジメントの原理・原則を学びたい人
- ☆ 新たにプロジェクトマネジメントシステムを導入したい組織
- ☆ プロジェクトマネジメントでビジネス、事業、研究開発などの成果を上げたい組織
- ☆ プロジェクトの関係者(経営層、部門責任者、マネージャー、チームメンバー)
- ☆ ISO9001からプロジェクトマネジメントシステムにステップアップしたい組織
- ☆ PMOなどプロジェクトの管理部門を有する組織

